

環境（８）

路上喫煙禁止区域の喫煙について、過料２千円では効果が薄いと思う。１万円以上の罰金にしないと効果がないのではないか。（七宝町、６０代女性）

〔回答〕

本市では、歩きたばこのほか、犯罪の多発や違法駐車、落書きなど地域の課題を解決するため、それらの事項について包括的に規定する「安心・安全で快適なまちづくりなごや条例」を施行しています。

この条例に基づき、たばこの火によるやけどの被害をなくし、ひいては吸殻のポイ捨てを防止するため、繁華街やターミナル周辺など人通りが多く終日にわたり路上喫煙による危険性が高い地域の道路上を、路上禁煙地区（名古屋駅・栄・金山・藤が丘の４地区）として指定しています。

過料の額を１万円以上にすべきではないかのご要望ですが、確かに金額が高いほど違反者にとっては、大きな痛手となり抑制効果が発揮される面はあると思いますが、他都市の結果によりますと金額の違いがあっても、実際違反者から過料を徴収することによる心理的效果は働いています。

また、抑制効果の違いは、金額以外パトロールの体制などの違いなど様々な要因もあるかと思えます。

そのため早朝、夕方の特定場所での広報・啓発や路上禁煙等指導員と職員が一体となった指導などを適切に行い、実際に違反者から徴収することにより実効性を上げてまいりたいと思います。

従いまして、当面は、現在の過料の額で徴収を実施していきたいと考えております。

今後も、広報・啓発に努め、条例の趣旨をご理解いただくとともに、より多くの皆様にご協力いただけるよう努めてまいりますので、よろしく申し上げます。【名古屋市環境局作業課】

私の住む市には製鉄所がたくさんあり、多くの煙が発生している。もっと県が対策してほしい。（東海市、６０代男性）

〔回答〕

東海市では、これまでも降下ばいじんに対する苦情が多くあり、知多事務所や市役所において、その都度、新日本製鐵(株)名古屋製鐵所を始めとする鉄鋼３社の立入調査・指導などを行っています。

平成１６年からは、県環境部大気環境課、知多事務所、東海市、及び鉄鋼３社により合同で「降下ばいじん対策検討会」を設け、年２回程度開催しており、鉄鋼３社に対しては、集塵機の設置・改修、飛散防止ネットの設置、散水設備の増強等の降下ばいじん対策を進めるよう指導しています。

引き続き、鉄鋼三社に対しては、調査・監視を継続し削減に向けた指導を実施していきます。

また、緑化については、東海市が産業道路東側において、環境保全林の整備を行うとしております。【環境部大気環境課】

今年も黄砂が名古屋にも飛来し、花粉症で敏感な人は大変だったと聞く。県として、黄砂対策に何かを行うことはできないか。（江南市、５０代男性）

〔回答〕

黄砂飛来による影響については、科学的に明らかでない部分が多いため、国では、全国９か所で黄砂実態解体調査を実施しています。この調査では、黄砂の環境影響を把握するため、飛来する黄

砂を捕集し、物理的性質（粒径分布、粒子の形状、表面構造等）や化学的性質（化学組成、鉱物組成、吸着・付着した酸性物質や農薬等の大気汚染物質等）を分析しております。

本県では、国のこの調査に協力しており、犬山市において黄砂の捕集を行っています。

【環境部大気環境課】

身近な緑が多いことはもちろん大切ですが、山の緑を大切にすることにももっと力を入れていただきたい。それと横浜国立大学の宮脇教授を招聘して講演会を愛知県の各地でやっていただいて、緑の大切さをもっと県民のみなさんに意識させることに努力してほしい。（知立市、40代男性）

〔回答〕

身近な緑や山の緑である森林は、県民共有の貴重な財産であり、その大切さを伝え、森と緑の整備を進めることは、県としても非常に重要なことと考えております。

本県では一般県民の方を対象に、「あいち海上の森センター」、「緑化センター」及び「植木センター」にて、森林や緑についての知識や緑化技術について学ぶ各種研修を実施しております。また、県植樹祭等の緑に関する行事の開催を通じて、県民の皆様が緑への意識を高めてもらうよう努めております。

また、山の森林の整備につきましても、森林所有者や林業関係者への働きかけとともに、企業等のさまざまな方面と連携し、県と県民・企業等が協働して行う森づくりを進めることとしております。

さらに昨年度からは、より広く県民の皆様のご協力を得て「森と緑づくり」を実施していくための新しい制度の検討を始めております。

なお、ご意見にありました横浜国立大学の宮脇昭名誉教授は、長年にわたって森林づくりに取り組んでおられる方で、その趣旨に賛同する県内の自治体や各種団体が宮脇教授を招いて、講演会や植樹活動を実施しております。県としてもその行事の後援を行う等、協力しています。

今後とも緑の大切さを広め、森と緑づくりについて努力してまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

【農林水産部農林基盤担当局森林保全課】

地球環境の大切さを訴え、地球を思いやる記念日になるよう、環境デー（国民の祝日）を作ってはどうか。（美和町、60代男性）

〔回答〕

地球温暖化防止に関して、貴重なご意見を頂きましてありがとうございます。

地球温暖化問題は、私たち自身や子孫に関わる大きな問題であり、私たち一人ひとりが日々の暮らしを見直し、できることから省エネルギー・省資源に努めていくことがとても大切です。

環境デーといたしましては、国民の祝日ではありませんが、環境基本法で6月5日が「環境の日」と定められており、6月は環境月間として、全国で様々な取組が行われています。例えば、環境省では、「ブラックイルミネーション」と題し、ライトアップ施設や各家庭の照明を全国一斉に消し、省エネを啓発することを広く呼びかける取組も行っています。

本県においては、平成17年1月に策定した「あいち地球温暖化防止戦略」に基づいて地球温暖化防止対策の推進を図っていますが、さらに、今年度からは「あいちエコチャレンジ21」を統一

標語に、県民一人ひとりにエコライフの実践を呼びかける県民運動を展開しています。

この県民運動に多くの皆様にご賛同いただき、エコライフの実践の輪が広がるよう、今後も取組を進めてまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【環境部大気環境課地球温暖化対策室】

アイドリングストップのポスターで外に貼れるものを作成し、希望の市民に配ってはどうか。

(名古屋市、40代女性)

〔回答〕

本県では、「アイドリング・ストップ」を呼びかけるリーフレットを平成9年度に作成し、今までに約20万部を配布し周知を図ってきました。

また、「アイドリング・ストップ」のステッカーも作成し、今までに約7千枚を配布してきました。

リーフレット及びステッカーは、今でも希望者に配布していますので、必要枚数をお知らせいただきましたらご用意いたします。

【環境部大気環境課地球温暖化対策室】

地球レベル、国レベルでは、地球の温暖化対策を頻繁に呼びかけているが、県ではどのような取組をされているのか。

(一宮市、40代男性)

〔回答〕

地球温暖化問題は、私たち自身や子孫に関わる大きな問題であり、私たち一人ひとりが日々の暮らしを見直し、できることから省エネルギー・省資源に努めていくことがとても大切です。

本県においては、平成17年1月に策定した「あいち地球温暖化防止戦略」に基づいて地球温暖化防止対策の推進を図っています。

さらに、今年度からは「あいちエコチャレンジ21」を統一標語に、県民一人ひとりにエコライフの実践を呼びかける県民運動を展開しています。

この県民運動に多くの皆様にご賛同いただき、エコライフの実践の輪が広がるよう、今後も取組を進めてまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

< あいち地球温暖化防止戦略における主な取組 >

【産業部門】(事業者の自主的な取組の促進)

CO₂排出削減マニフェストの登録、「地球温暖化対策計画書」制度の推進

【家庭部門】(エコライフ・エコ住宅・エコ社会の展開)

太陽エネルギー利用・燃料電池の普及促進、地域・企業等のエココミュニティ活動の促進 など

【業務部門】(エコ店舗・エコオフィスの拡大)

チェーンまるごとエコショップ化の推進、ESCO事業の展開 など

【運輸部門】(環境配慮型車社会の実現)

エコカーの普及拡大、グリーン配送の促進、バイオ燃料の導入拡大 など

【その他】(ゼロエミッションの推進、森林の整備・保全と緑化の推進、環境学習・研究の推進など)

「あいちエコタウンプラン」の推進、植樹や家庭・オフィスビル等の緑化の推進、省エネ技術の発掘・技術移転の促進 など

<エコライフの実践例>

【考えようエコライフ】(環境家計簿で自分の家から出る二酸化炭素の量を調べる。)

【冷暖房でエコライフ】(冷暖房を減らす対策を行う。)

夏はクールビズ(冷房 28)、冬はウォームビズ(暖房 19)、「緑のカーテン」や敷物などの活用、窓・壁などの断熱性を高めた省エネ住宅

【地産地消でエコライフ】(なるべく旬のもの、近く(県内)で取れたものを食べる。)

【ごみを減らしてエコライフ】(なるべくゴミを出さないよう心がける。)

詰替え商品や低包装のものを選ぶ、マイバッグ持参、古紙・空容器などのリサイクル

【電気・ガス・水を減らしてエコライフ】(電気・ガス・水の使用量を減らす対策を行う。)

待機電力を減らす、白熱電球から電球型蛍光灯へ取替、風呂の残り湯を利用、省エネルギー性能の高い家電製品を選ぶ、エコキュート・エコウィル・エコジョーズなど高効率エネルギー機器の活用

【エコドライブでエコライフ】(自動車からの二酸化炭素排出を減らす。)

公共交通機関の利用、アイドリングストップ、低公害・低燃費車を選ぶ

【自然の力でエコライフ】(太陽光発電・太陽熱利用などの自然エネルギー利用機器を取り入れる。)

【環境部大気環境課地球温暖化対策室】

ニュースで岐阜県が何年後かをメドに岐阜県全域でのレジ袋有料化を目指すと聞いたが、愛知県ではどのような計画があるのか。(高浜市、20代男性)

〔回答〕

愛知県では、循環型社会の形成推進のため、ごみの排出削減や資源ごみの再資源化など、3R(リデュース(発生抑制)、リユース(再使用)、リサイクル(再生利用))の推進に積極的に取り組んでいます。

その一環として、県、市町村、消費者団体、事業者団体などで構成される「ごみゼロ社会推進あいち県民会議」において、本年度、レジ袋の削減について検討し、「レジ袋削減取組店制度」を創設したところです。

この制度は、3年間でレジ袋を50%以上削減する目標を掲げる小売店を全県域で募集して登録し、その実績に応じて表彰を行うもので、レジ袋削減の手法として値引きやポイント制度の充実などと併せて有料化を位置づけ、来年度からスーパーマーケットなどの小売店で有料化が開始されるよう、県もこの制度の周知のために取り組んでいるところです。 【環境部資源循環推進課】